

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	62
2. 大学等名	高知大学
3. テーマ	V. 卒業時における質保証の取組の強化
4. 取組学部等名	全学 [人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部、地域協働学部、土佐さきがけプログラム]
5. 事業期間	平成28年度 ～ 平成31年度 （4年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(397文字)
<p>本学が提唱する「地域協働による教育」を展開するために、ディプロマ・ポリシー（DP）を従来のものに加え、10の具体的要素で定義し、さらにこれらを活用するメタ・コンピテンシーを育成する。具体的要素はGPAとルーブリック評価、メタ・コンピテンシーはパフォーマンスで評価するなど多面的評価を実施する。GPAについては厳格に運用し、ルーブリック評価とパフォーマンス評価は、高大接続及び社会との接続の観点から、高等学校教員や社会人と共同で評価指標の開発等を行う。1年次から教員との面談を定期的に行い、学生の学びの目的を明確化し、成績不振者は学生総合支援センター等と連携して個別支援する。3年次にはリフレクションセメスターを設定し、キャリア形成支援を強化する。FD・SDウィークを設定し、教職員の意識改革を促進する。卒業生の活動状況を調査し、現行の教育を検証する。こうした活動全体をIRデータにまとめ教育活動を可視化する。</p>	